

先之職例に於ては大阪神戸各縣合会ニ德援方  
依頼し居たりと云ふ如く大阪府藤岡文六神戸三  
今志雄未危職工等種々協議ヲナレタル後  
果硬心ニ屬し職工の身ヲ危連判状ヲ作製レ  
飽迄初志ノ貫徹ヲ期スルトニ協定シ引續善  
後策ニ付考究中ナリト云フ事然レ蓋シ紛糾スル  
モノト觀測セラルル下ニ注意喚起中

六友申(通)報候や

記

今社日本日より向て七日間休業(鑄物部)ト云ん  
ニテ初日只日給ノ半額ヲ支給ス若シ役未通リ就  
ニ業シタキモノハ休業期間内ニ其ノ旨申出ラレタ  
一方職工側ハ早乾未勤セト未場シタルモ突然ノ  
休業ニ依リ各自會社ノ態度ニ憤懣シ工場門前  
ニ集合時々喊聲ヲ發シテ九時頃永井花  
市根崎定儀青野岸太郎等代表トナリ工場ニ  
小田原大藏(技師)ヲ訪テ要社員徹ニ加メ外ハ決  
ニ同ハ先ツ青野岸太郎方ニ引揚ケタリ